

九州医師会連合会第 129 回定例委員総会



常任理事 涌波 淳子



九州医師会連合会第 129 回定例委員総会

日 時：令和 7 年 8 月 23 日（土）17：00～17：50
場 所：ホテルオークラ福岡 4 階 平安Ⅱ

<次 第>

1. 開 会
2. 挨拶
 - 1) 前九州医師会連合会長
 - 2) 九州医師会連合会長
3. 来賓祝辞
4. 座長選出
5. 報 告
 - 1) 第 424 回常任委員会について
 - 2) 令和 6 年度九州医師会連合会庶務並びに事業報告について
 - 3) その他
6. 議 事
 - 第 1 号議案 令和 6 年度九州医師会連合会歳入歳出決算に関する件
 - 第 2 号議案 令和 7 年度九州医師会連合会事業計画に関する件

九州医師会連合会第 129 回定例委員総会は、「まずはじめに沖縄県の皆様おめでとうございます！」という沖縄尚学の高校野球優勝に関するお祝いの言葉から始められた。その後もまるで私たち県医師会役員が沖尚ナインの保護者のような錯覚を覚えるほど、皆様の挨拶の中に何度もお祝いの言葉をいただき、嬉しい始まりであった。

松本吉郎日本医師会長のご挨拶では、「予算編成は残り 4 か月弱、骨太の方針に賃上げと物価高騰の文言は入ったが、財務省の『適正化、効率化』の言葉は降ろされていないのでしっかりと対応していかなければならない。前回の報酬改定では財務省の 5,000 億円削減方針を 1,200 億円まで戻すことができたが、今回も財務省は、加算、管理料、処方箋関連、薬剤の一部負担等で 5,000 億円削減を見込んでいるので、OTC 類似薬の保険外しも含めて、議員の方々や財務省に話をしている」とあった。

- 第3号議案 令和7年度九州医師会連合会負担金賦課に関する件
- 第4号議案 令和7年度九州医師会連合会歳入歳出予算に関する件
- 第5号議案 令和7年度九州医師会連合会監事(2名)の選定に関する件
- 第6号議案 令和7年度第125回九州医師会医学会事業計画に関する件
- 第7号議案 令和7年度第125回九州医師会医学会会費賦課に関する件
- 第8号議案 九州医師会連合会会則の一部改正に関する件

7. 協 議

- 1) 日本医師会副会長・理事補欠選挙における九州ブロックからの候補者推薦について

8. その他

9. 閉 会

◇九州医連連絡会第26回執行委員会
日 時：令和7年8月23日(土) 18:00～18:30
場 所：ホテルオークラ福岡 4階 平安Ⅱ

◇懇親会
日 時：令和7年8月23日(土) 18:40～20:40
場 所：ホテルオークラ福岡 4階 平安Ⅲ

今村英仁日医常任理事からは、「新たな地域医療構想と医療計画のガイドラインを今年度中に取り決めていく。各地域で状況は異なるので、希望があったら声を出してほしい。」という事と「かかりつけ医機能報告に関する研修制度が始まる。開業医も勤務医も多くの医師が受けてもらえると、日医が訴えている地域医療をみんな面で支える事が実証される。」事等が話された。

濱口欣也日医常任理事からは「在宅、医療介護、救急・災害、小児・周産期の4つのワーキンググループが検討を始め、令和7年度中に意見を取りまとめる事になっている。病床数適正化では、2年後の新たな地域医療構想に向けてパンデミックが起こっても地域に必要な病床を確保する形で進めていくこと、妊娠から産後サポートまで安心して子供を生み、育てられるような仕組み及び産科医療機関が持続可能な形で経営が継続できる制度が検討されている」こ

とが報告された。

その後、定例の令和6年度の事業報告、歳入歳出決算、令和7年度の事業計画、歳入歳出予算等が全会一致で承認された。

また、第125回九州医師会医学会が令和7年11月29日、30日にホテル日航福岡で開催され、特別講演として厚生労働省医政局長森光敬子先生から「地域医療構想を含む医療界の課題」、歴史家・作家の加来耕三氏から「歴史に学び、未来を読む」があることが承認された。

協議事項としては、釜范日医副会長が参議院議員業務に専念できるように副会長を降りられ、その後任として現日医理事兼熊本県医師会長の福田稔先生を候補として推薦すること、また、福田先生が日医理事を降りられた後には現福岡県医師会長の蓮澤浩明先生を候補として推薦することが全会一致で承認された。

7月の参議院選挙に関しては、松本医師会長からは、「自民党に対する厳しい嵐の中、会員皆様のご尽力のおかげで、釜范副会長が医療系候補の中でのトップ当選となった事に感謝している。特に九州・沖縄ブロックは会員数は日医の15～16%であるが、25%近い票を集めていただいた。九州ブロックの連帯感の強さを感じた。これまで、骨太の方針に関して、自見はなこ先生が駆けずり回ってくださり、日医の考えていた文言を入れてもらう事ができた。今後は、釜范先生と自見先生と一緒に組織内候補として日医のめざしている政策が実現できるよう頑張っていたきたい」と励ましの言葉があり、釜范先生、自見先生からもご挨拶があった。

今回も九州医師会の一体感、日医の会長を始め役員の皆様のご努力に頭が下がる想いを感じて、残暑の福岡を後にした。

※報告書の詳細につきましてはホームページをご参照下さい。

<https://www.okinawa.med.or.jp/medical/kaihou/houkoku/202303-2/>

